

静岡県新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口寄せられたよくある相談と回答

静岡県新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口寄せられたよくある相談と一般的な回答をお知らせします。(令和5年6月30日時点)

1 副反応に関する相談

- Q 1 : 休日や夜間に副反応の症状が強く出ていて、かかりつけの医療機関が閉まっている場合、どこに相談すればよいですか。..... 1
- Q 2 : ワクチンを接種してから発熱し、咳やのどの痛みがあり、味覚を感じにくくなっています。ワクチンの副反応ですか。..... 1
- Q 3 : ワクチン接種後、体がだるい状態が続いており、接種部位も痛くて眠れません。どうしたらよいですか。..... 1
- Q 4 : ワクチン接種後、背中や頭痛が続いています。どうしたらよいですか。..... 1
- Q 5 : ワクチン接種後、血尿がみられる。どうしたらよいですか。..... 1
- Q 6 : ワクチン接種後、下痢や嘔吐の症状が出ました。これらも副反応ですか。..... 2
- Q 7 : 接種した部位が紫色になっていますが大丈夫ですか。..... 2
- Q 8 : モデルナワクチンを接種してから1週間経過しましたが、接種部位周囲が赤く腫れて痒みが強いです。どうすればよいですか。..... 2
- Q 9 : 血管迷走神経反射とは何ですか。..... 2
- Q 10 : ワクチン接種後、月経の出血量が多い。ワクチンの影響ですか。..... 2
- Q 11 : ワクチン接種の副反応で治療が必要になった場合、治療費はどうなりますか。..... 2
- Q 12 : ワクチン接種後調子が悪く、かかりつけ医を受診していますが改善しません。どうすればよいですか。..... 3
- Q 13 : 副反応が何か月も継続していて、総合病院を受診しています。検査結果は問題ありませんが、改善しません。どうすればよいですか。..... 3
- Q 14 : ワクチン接種後、会場で待機中に気分が悪くなりましたが、相談せずに帰宅しました。その後もスッキリしませんが、どうすればよいですか。..... 3
- Q 15 : ワクチン接種後、心筋炎や心膜炎になる人がいるというのは本当ですか。..... 3
- Q 16 : オミクロン株対応ワクチンには、どのような副反応がありますか。..... 4
- Q 17 : ワクチン接種後に遷延する症状(いわゆる後遺症)が生じることがあるのでしょうか。..... 4
- Q 18 : ワクチン接種後の遷延する症状(いわゆる後遺症)を診てくれる病院はありますか。..... 4

Q19 : ワクチン接種後の遷延する症状（いわゆる後遺症）について、相談できる 窓口はありますか。	5
--	---

2 2回目接種に関する相談

Q20 : 1回目接種時にアナフィラキシー症状が出ましたが、2回目接種可能ですか。	5
Q21 : 1回目接種後、40℃の発熱がありました。2回目接種をしても大丈夫ですか。	5
Q22 : 2回目接種の方が副反応が強く出ると聞いているので心配です。	5
Q23 : アナフィラキシー症状を起こしたことがあります。再度同様のことが起こるの ではないかと心配です。	5

3 3回目接種に関する相談

Q24 : 3回目接種にはどのような効果があるのでしょうか。	6
Q25 : 2回目までの副反応が辛かったのですが、3回目のほうが副反応は強く出るの でしょうか。	6
Q26 : 2回目まではファイザー社製ワクチンを接種したが、3回目はモデルナ社製ワ クチンを接種しようと思っています。副反応に違いはありますか。	6
Q27 : 3回目接種後、脇の下のリンパが腫れ、痛みがあります。どうしたらよいか。	6
Q28 : 初回接種（1・2回目）を海外で受けました。日本で追加接種（3回目）は受 けられますか。	6

4 接種の対象に関する相談

Q29 : 新型コロナウイルスに感染した場合、ワクチン接種を受けられますか。	7
Q30 : 基礎疾患があります。ワクチンを接種しても大丈夫ですか。	7
Q31 : アレルギー体質です。ワクチンを接種しても大丈夫ですか。	7
Q32 : 妊娠していますが、ワクチン接種は可能ですか。	7
Q33 : 授乳中だが、ワクチンの接種は子供に影響しないか。	7
Q34 : ワクチン接種の当日、基礎疾患に係る薬を内服しても大丈夫ですか。	8
Q35 : 血液をサラサラにする薬（抗凝固薬）を内服しています。ワクチン接種を受け ても大丈夫ですか。	8
Q36 : ワクチン接種の当日に発熱している場合、接種を受けても大丈夫ですか。	8
Q37 : こどもの頃にけいれんを起こしたことがありますが、接種を受けられますか。	8

5 接種後の生活に関する相談

- Q38：ワクチン接種を受けた当日に、入浴や飲酒をしても大丈夫ですか。……………9
- Q39：ワクチン接種後、いつから運動系の部活を再開してよいですか。…………… 9
- Q40：新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできますか。9
- Q41：ワクチン接種後に PCR 検査を受けても大丈夫ですか。……………9

6 ワクチンの効果に関する質問

- Q42：新型コロナワクチンでは、どれが一番効果がありますか。…………… 9
- Q43：変異株にもワクチンの効果はあるのでしょうか。 …………… 10

7 小児接種に関する相談

- Q44：小児接種がなぜ開始されたのでしょうか。…………… 10
- Q45：小児接種のワクチン接種量や回数は成人と同じでしょうか。…………… 10
- Q46：子どもがワクチン接種後に発熱しました。対応は成人の場合と同じで良いでしょうか。……………10

8 予防接種健康被害救済制度について

- Q47：副反応による健康被害が起きた場合の補償はどうなっていますか。…………… 11
- Q48：どのような副反応が救済制度の対象となるのですか。…………… 11
- Q49：申請に必要な書類はなんですか。…………… 11

1 副反応に関する相談

Q 1 : 休日や夜間に副反応の症状が強く出ていて、かかりつけの医療機関が閉まっている場合、どこに相談すればよいですか。

A 1 : お住まいの市町ホームページや広報誌、「医療ネットしずおか（インターネット）」、「当番情報電話案内（電話番号：0800-222-1199）」等で、休日夜間当番医を調べて受診してください。緊急の場合は、救急車を呼んでください。診療開始時間まで待てる症状であれば、かかりつけ医等の身近な医療機関にご相談ください。
なお、副反応相談窓口では、医療機関の紹介は行っていません。

Q 2 : ワクチンを接種してから発熱し、咳やのどの痛みがあり、味覚を感じにくくなっています。ワクチンの副反応ですか。

A 2 : ワクチンの副反応では、咳やのどの痛み、味覚障害、嗅覚障害などの症状は通常みられません。新型コロナウイルスに感染している可能性がありますので、かかりつけ医等に電話連絡し、受診してください。
発熱、頭痛、倦怠感等の症状のみの場合は、副反応と考えられますが、それらの症状が3日経っても軽くならない場合は、身近な医療機関等を受診してください。

Q 3 : ワクチン接種後、体がだるい状態が続いており、接種部位も痛くて眠れません。どうしたらよいですか。

A 3 : 副反応の一つで、時間の経過とともに回復します。接種部位が痛む場合は、鎮痛剤を内服することも対処法の一つです。また、冷水やアイスパック等で患部を冷やすと痛みが和らぎます。

Q 4 : ワクチン接種後、背中痛みと頭痛が続いています。どうしたらよいですか。

A 4 : 接種から半日ほどして始まる接種部位（上腕）の痛みが強い人では、接種部位と同じ側の脇から背中にかけて痛むことがあります。また、頭痛は接種後よく見られる副反応です。3,4日経っても症状が改善しない場合は、かかりつけ医やお近くの医療機関を受診してください。

Q 5 : ワクチン接種後、血尿がみられる。どうしたらよいですか。

A 5 : 慢性的な腎炎がひそんでいる可能性があるため、腎臓内科を受診してください。

Q 6 : ワクチン接種後、下痢や嘔吐の症状が出ました。これらも副反応ですか。

A 6 : 接種後数日以内に下痢や嘔吐、吐き気の症状が副反応として出ることもあります。

Q 7 : 接種した部位が紫色になっていますが大丈夫ですか。

A 7 : 内出血の可能性がありますが、徐々に体内に吸収されるため問題ありません。ただし、内出血が広範囲にわたる場合や、しびれ、強い腫れなどの症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。

Q 8 : モデルナワクチンを接種してから 1 週間経過しましたが、接種部位周囲が赤く腫れて痒みが強いです。どうすればよいですか。

A 8 : 「モデルナアーム」と呼ばれている症状です。数日で自然に治ると報告されています。痛みがひどいときは、アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬（ロキソニン、イブプロフェン等）の内服で痛みが軽減することがあります。また、かゆい場合は患部を冷やす、かゆみ止めの外用薬（軟膏等）を塗ることで症状が軽くなります。

Q 9 : 血管迷走神経反射とは何ですか。

A 9 : 血管迷走神経反射は、緊張やストレスなど様々な要因によって接種後すぐに起きる、血圧の低下、脈拍の減少などのことです。コロナワクチン特有の症状ではなく、採血や他のワクチン接種時にも発症することがあり、めまいや失神する場合があります。通常は横になって休むことで回復するので、健康上大きな問題にはなりません。

Q 10 : ワクチン接種後、月経の出血量が多い。ワクチンの影響ですか。

A 10 : 現時点では、mRNA ワクチンが直接的に月経に影響することは認められておりません。ただし、月経は様々な要因に影響を受けるので、副反応による発熱やストレスによって、周期が乱れたり、出血量が増える可能性は考えられます。症状が気になる場合は、婦人科医の診察を受けてください。

Q 11 : ワクチン接種の副反応で治療が必要になった場合、治療費はどうなりますか。

A 11 : 数日で治った発熱や痛みなど、一般的な副反応とみられる症状に関する治療費は自己費ですが、予防接種後健康被害救済制度により、予防接種と健康被害との因果関係が

認定された場合、医療費等の給付を受けることができます。詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。また、申請手続きについてはお住まいの市町にご相談ください。

Q12：ワクチン接種後調子が悪く、かかりつけ医を受診していますが改善しません。どうすればよいですか。

A12：医療機関受診後も副反応の症状が継続する場合は、紹介状を書いていただき総合病院への受診をお勧めします。総合病院への受診についてかかりつけ医に相談してください。

Q13：副反応が何か月も継続していて、総合病院を受診しています。検査結果は問題ありませんが、改善しません。どうすればよいですか。

A13：ワクチン接種後、長期間続く副反応症状に特化した治療法は確立されていません。症状に対する治療を継続してください。

Q14：ワクチン接種後、会場で待機中に気分がなりましたが、相談せずに帰宅しました。その後もすっきりしませんが、どうすればよいですか。

A14：接種後に気分が悪くなり、帰宅後もすっきりしない場合は、かかりつけ医や近医を受診してください。

なお、経過観察中に気分が悪くなった場合は、必ず医療従事者に声をかけて医師の診察を受けてください。その時の状態を正確に診ていただき、処置や、次回の接種をどうするかを決めていく必要があります。

Q15：ワクチン接種後、心筋炎や心膜炎になる人がいるというのは本当ですか。

A15：新型コロナワクチン接種後、頻度としてはごく稀に、心筋炎や心膜炎になったという報告がなされています。特に、10代及び20代の男性については、ファイザー社のワクチンに比べて、モデルナ社のワクチン接種後の心筋炎や心膜炎が疑われる報告頻度が高いことが報告されています。ワクチン接種後4日程度の間、胸の痛みや息切れ等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。

Q16：オミクロン株対応ワクチンには、どのような副反応がありますか。

A16：主な副反応として、注射した部分の痛み、頭痛、疲労、発熱等がありますが、現時点で重大な懸念は認められないとされています。接種後に気なる症状がみられた場合は、接種医又はかかりつけ医にご相談ください。

Q17：ワクチン接種後に遷延する症状（いわゆる後遺症）が生じることがあるのでしょうか。

A17：厚生労働省によると、現時点においては、ワクチンが原因で接種後に遷延する症状（いわゆる後遺症）が起きるとい知見はないということです。他方、世間ではワクチン接種後の遷延する症状があるのではないかという意見が散見されます。しかし、その実態が不明であるため、現在、厚生労働省による接種後の副反応を疑う症状についての事態調査が行われています。その調査結果について、令和5年4月28日に厚生労働省の審議会で第一報があり、現時点で懸念を要するような特定の症状や疾病の報告の集中は見られなかった、との報告がなされています。厚生労働省においては、今後も新たな知見が得られ次第、速やかにお知らせするとしています。

(参考リンク)

[厚生労働省新型コロナワクチンQ & A（遷延する症状）](#)

[新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査について（第93回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和5年度第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会資料）](#)

Q18：ワクチン接種後の遷延する症状（いわゆる後遺症）を診てくれる病院はありますか。

A18：ワクチン接種後の遷延する症状（いわゆる後遺症）を含め、副反応を疑う症状がある方は、まずは身近な医療機関やかかりつけ医を受診して等へご相談ください。身近な医療機関を受診した後、更に専門的な対応が必要であると医師が判断した際、被接種者の方が専門的な医療機関を円滑に受診することができるよう、本県では4つの専門的医療機関を設けています。県内の全ての医療機関（歯科を除く。）に専門的医療機関の仕組みを周知していますので、専門的医療機関への受診については、受診した身近な医療機関やかかりつけ医に御相談いただくようお願いします。

Q19：ワクチン接種後の遷延する症状（いわゆる後遺症）について、相談できる窓口はありますか。

A19：ワクチン接種後の遷延する症状（いわゆる後遺症）を含め、副反応を疑う症状についての相談窓口「静岡県新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口」を開設しています。（受付時間：毎日午前9時から午後5時まで 電話番号：050-5445-2369）

2 2回目接種に関する相談

Q20：1回目接種時にアナフィラキシー症状が出ましたが、2回目接種可能ですか。

A20：ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなどの重度の過敏症の既往歴のある方は、ワクチン接種を受けることができません。

Q21：1回目接種後、40℃の発熱がありました。2回目接種をしても大丈夫ですか。

A21：発熱が治っていれば2回目接種は接種可能です。新型コロナワクチンの十分な効果を得るためには、2回接種が必要ですので、2回目の接種を前向きにご検討ください。ただし、1回目接種後に副反応による発熱を生じた場合は、2回目接種後にも発熱する可能性がありますので、解熱剤の用意をしてください。

Q22：2回目接種の方が副反応が強く出ると聞いているので心配です。

A22：1回目の接種でいくらか免疫がつくことで、2回目接種の方が、免疫反応が起こりやすくなるため、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすくなります。解熱鎮痛剤の準備や、2回目接種予定日の翌日は休暇を取るなど、準備をしてください。

Q23：アナフィラキシー症状を起こしたことがあります。再度同様のことが起こるのではないかと心配です。

A23：接種当日は、過去にどのような原因物質で、どのようなアナフィラキシー症状を起こしたことがあるかを、問診時に医師へ必ずお伝えください。接種後30分は、症状がなくても接種会場に滞在し、経過観察を受けてください。万が一アナフィラキシーショックを起こしても、適切な治療を受ければ回復します。

3 3回目接種に関する相談

Q24：3回目接種にはどのような効果があるのでしょうか。

A24：追加接種を行わなかった場合と比べて、感染予防効果や重症化予防効果を高める効果があります。

Q25：2回目までの副反応が辛かったのですが、3回目のほうが副反応は出やすいのでしょうか。

A25：海外の臨床試験の結果では、ファイザー社製及びモデルナ社製いずれのワクチンの場合も、2回目の接種後と比較して3回目の接種後の副反応の発現傾向は概ね同様であると確認されていますが、リンパ節の腫れなどについては、2回目までの接種時と比較して、発現割合が高い傾向にありました。

Q26：2回目まではファイザー社製ワクチンを接種したが、3回目はモデルナ社製ワクチンを接種しようと思っています。副反応に違いはありますか。

A26：初回接種でファイザー社製ワクチンを2回接種した20歳代以上の人を対象に追加接種でファイザー社製、モデルナ社製ワクチンを受けた時の抗体価と副反応の頻度を比較した調査によると、抗体価は接種前に比べてファイザー社は約54倍、モデルナ社は約68倍上昇しました。副反応の37.5℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、モデルナ社製の方がファイザー社製より各々約30%、約15%、約10%発生頻度が高かったです。

Q27：3回目接種後、脇の下のリンパが腫れ、痛みがあります。どうしたらよいか。

A27：ワクチン接種後に、接種した側の脇や首などのリンパ節が腫れることがあり、2回目よりも3回目接種後のほうが発現割合が高いと報告されていますが、時間の経過とともに自然に治ります。また、乳がん検診を受ける際は、リンパ節が腫れている原因について誤った判定がなされないよう、ワクチン接種前に受けるか、ワクチン接種後に受ける場合は検診医にワクチン接種を受けたことを伝えると良いでしょう。

Q28：初回接種（1・2回目）を海外で受けました。日本で追加接種（3回目）は受けられますか。

A28：日本で接種が進められている、ファイザー社、武田/モデルナ社、アストラゼネカ

社、ノババックス社、ヤンセンファーマ社（ジョンソン・エンド・ジョンソン）のワクチンを海外で接種した場合、日本で追加接種を受けることは可能です。初回接種で上記以外のワクチンを受けた場合は、ファイザー社、モデルナ社、アストラゼネカ社及び武田社のワクチンで1回目接種から行うこととなります。

4 接種の対象に関する相談

Q29：新型コロナウイルスに感染した場合、ワクチン接種を受けられますか。

A 29：新型コロナウイルスに感染した方もワクチン接種を受けることが可能です。感染後や治療後は、接種まで一定の期間をおく必要がある場合もありますので、いつから接種できるか不明な場合は、身近な医療機関等へご相談ください。

※初回接種後に感染した方は、感染してから接種までに90日間空けることが目安とされていますが、本人が速やかにワクチン接種を希望する場合は接種することができます。

Q30：基礎疾患があります。ワクチンを接種しても大丈夫ですか。

A 30：免疫不全のある方や病状が重い方など、接種を慎重に検討した方がよい場合があります。そのため、まずは定期受診をしている医療機関等に、ワクチン接種を受けても良いかご相談ください。

Q31：アレルギー体質です。ワクチンを接種しても大丈夫ですか。

A 31：蜂や食物アレルギー、花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、抗菌薬へのアレルギーがあるという理由で、接種を受けられないという事はありません。アレルギーについて医療機関にかかっている、もしくはかかりつけ医がいる場合は、医療機関・かかりつけ医に事前にご相談ください。

Q32：妊娠していますが、ワクチン接種は可能ですか。

A 32：妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の方も、ワクチン接種を受けることができます。mRNAワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。

Q33：授乳中だが、ワクチンの接種は子供に影響しないか。

A 33 : 接種後も通常通り授乳できます。ワクチン接種を受けた方の母乳中に抗体が確認されているので、授乳中の子供を感染から守る効果が期待されています。

ただし、ワクチン接種後の発熱や痛みに対処する場合は、薬の成分が母乳中に分泌される可能性があるため、使用する薬は医師や薬剤師にご相談ください。

Q34 : ワクチン接種の当日、基礎疾患に係る薬を内服しても大丈夫ですか。

A 34 : 薬を内服していることでワクチンが接種できないということはありませんが、基礎疾患の種類や内服している薬の種類によっては、接種を慎重に検討した方がよい場合がありますので、定期受診をしている医療機関等へご相談ください。

Q35 : 血液をサラサラにする薬（抗凝固薬）を内服しています。ワクチン接種を受けても大丈夫ですか。

A 35 : 接種を受けられます。また、休薬する必要はありません。注意事項として、筋肉に注射するので、筋肉内で出血する可能性があります。そのため、接種後は注射部位を2分以上圧迫してください。また、当日は重い物を持つ、運動をするなどの行動を避けてください。

Q36 : ワクチン接種の当日に発熱している場合、接種を受けても大丈夫ですか。

A 36 : 発熱している場合は、ワクチン接種を受けることはできません。

※通常発熱とは、37.5℃以上を指しますが、37.5℃を下回る場合も、平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

Q37 : こどもの頃にけいれんを起こしたことがあります。接種を受けられますか。

A 37 : 子どもの頃に熱性けいれんを起こしたことがある方も、新型コロナワクチンの接種を受けることができます。けいれん発作が起こる方も、けいれん発作状況がよく確認されており、病状と体調が安定していれば、主治医と相談の上、接種することができます。発熱によってけいれん発作が生じやすい方は、接種後に熱が出た場合の発作予防策や発作時の対策をあらかじめ主治医と相談してください。

5 接種後の生活に関する相談

Q38：ワクチン接種を受けた当日に、入浴や飲酒をしても大丈夫ですか。

A38：入浴は可能です。ただし、接種部位を強くこすったり、長湯は避けてください。
また、少量の飲酒は可能です。

Q39：ワクチン接種後、いつから運動系の部活を再開してよいですか。

A39：接種当日は激しい運動を控えてください。翌日以降は制限はありませんが、胸痛、息切れ、動悸、むくみなど、心筋炎や心膜炎が疑われる症状が出ている場合は、心臓に負担をかけないよう運動は避け、かかりつけ医などを受診することが望ましいです。
なお、シンガポールでは接種後2週間は激しい運動を控えるよう勧告されています。

Q40：新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできますか。

A40：新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種は可能です。ただし、インフルエンザワクチン以外のワクチンは、新型コロナウイルスワクチンと同時に接種できません。互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

Q41：ワクチン接種後に PCR 検査を受けて大丈夫ですか。

A41：ワクチン接種により、PCR 検査の結果に影響を及ぼすことはありません。

6 ワクチンの効果に関する質問

Q42：新型コロナワクチンでは、どれが一番効果がありますか。

A42：ワクチンによる免疫のつき方は、個人の体重や基礎疾患、治療中の薬剤等によっても変化しますので、どのワクチンがその人にとって最も有効かは一概に言えません。
なお、現在国内で承認されている3社のワクチンは、いずれも海外で数万人単位の臨床試験が実施されており、発症予防効果は、ファイザー社が約95%、武田/モデルナ社が約94%となっています。また、アストラゼネカ社は複数の臨床試験の解析結果から、約70%の効果が確認されています。

※臨床試験時点の結果です。ウイルスの変異によって発症予防効果が変化する場合

があることが確認されています。

Q43：変異株にもワクチンの効果はあるのでしょうか。

A43：一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるかについても、確認が進められていますが、一定の効果はあると考えられています。

なお、12月8日時点では、オミクロン株では従来株よりもワクチンの効果が低くなる可能性が示唆されています。

7 小児接種（5～11歳）に関する質問

Q44：小児接種がなぜ開始されたのでしょうか。

A44：小児においても中等症や重症例、死亡例がまれですが確認されており、特に基礎疾患を有する等、重症化リスクが高い小児には接種の機会を提供することが望ましいとされています。

Q45：接種する量や回数は成人と同じですか。

A45：小児接種に用いるワクチンは、12歳以上の接種に用いるものとは別の種類のもので、小児接種で接種する有効成分の量は、12歳以上で接種する量の3分の1になります。接種回数は12歳以上と同様、3週間の間隔で2回接種します。

Q46：子どもがワクチン接種後に発熱しました。対応は成人の場合と同じで良いでしょうか。

A46：成人と場合と同様です。ワクチン接種後の発熱に対しては、日本小児科学会より、発熱の程度に応じて解熱鎮痛剤を使用することができます。ご不安な場合は、かかりつけ医等に度相談ください。

8 予防接種健康被害救済制度について

Q47：副反応による健康被害が起きた場合の補償はどうなっていますか。

A47：健康被害が予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。給付の種類、給付額等については、[厚生労働省のホームページ](#)をご確認ください。

また、申請窓口は、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町になりますので、詳しくはしくは市町へご相談ください。

Q48：どのような副反応が救済給付の対象となるのですか。

A48：ワクチンを接種した後に起こった症状には、次のようなケースが考えられます。

- ①発熱、接種部位の発赤・腫脹（はれ）などの比較的よく見られる軽い副反応
- ② ①以外の副反応で、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりするような副反応
- ③ワクチンの接種が原因ではなく、偶然、接種と同時期にかかった感染症など
救済制度の申請があった場合、その内容を厚生労働省の審査会で個別に審査し、ワクチンの接種による健康被害（上記②）であると認められた場合に給付の対象となります。認定に当たっては、厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も対象とするとの考え方に基づいて審査が行われるとされています。

（参考リンク）

[厚生労働省リーフレット（予防接種健康被害救済制度）](#)

[厚生労働省新型コロナワクチンQ & A（接種後に起きた症状とワクチンとの因果関係）](#)

Q49：申請に必要な書類はなんですか。

A49：必要な書類は申請する給付の種類や状況によって異なりますが、請求書や、医療機関が発行する受診証明書、診療録、領収書等が必要になります。詳細については、[厚生労働省のホームページ](#)をご確認いただくか、お住いの市町にご相談ください。